



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場会社名 株式会社 J-オイルミルズ  
コード番号 2613 URL <http://www.j-oil.com>

上場取引所 東 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎田 純和

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 立見 健一

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 03-5148-7100

平成24年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	88,878	△3.0	2,400	△6.2	2,503	△1.7	1,450	12.5
24年3月期第2四半期	91,622	9.6	2,557	45.5	2,546	41.4	1,289	60.5

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,054百万円 (△6.8%) 24年3月期第2四半期 1,131百万円 (2,290.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	8.69	—
24年3月期第2四半期	7.72	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	143,050		68,467		47.9	
24年3月期	142,436		68,104		47.8	

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 68,467百万円 24年3月期 68,104百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
25年3月期	—	4.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	191,000	5.5	6,000	27.7	6,000	28.4	3,300	25.5	19.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	167,542,239 株	24年3月期	167,542,239 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	718,723 株	24年3月期	618,842 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	166,839,948 株	24年3月期2Q	166,924,861 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第2四半期連結累計期間	
四半期連結包括利益計算書	8
第2四半期連結累計期間	
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

平成25年3月期第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）に係る経営成績は、次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、震災からの復興需要等を背景に緩やかに回復傾向にはあるものの、欧州債務危機や国内のデフレの影響等により、依然として厳しい状況にありました。

製油産業におきましては、主原料である大豆及び菜種の相場は、世界的な異常気象による生産量の減少や欧州債務危機等による経済・金融問題等も影響し、かつてない程の高値で推移する展開となりました。

大豆のシカゴ相場は、4～6月にかけて1ブッシェル当たり14～15米ドル付近の高値で推移した後、7～9月にかけては、米国産地における25年ぶりの干ばつ等の影響により、1ブッシェル当たり18米ドル目前まで上昇し、史上最高値を更新しました。

菜種のウィニペグ相場も、1トン当たり600～650加ドル付近の高値で推移し、7月には1トン当たり700加ドル目前まで上昇する等、史上最高値に迫る展開となりました。

以上のように原料相場が記録的な高値で推移する中、当社は、安定した原料調達を可能とし供給責任を果たすためにも、コスト増加を含む製品価値に見合った販売価格を実現すべく、4月及び7月に価格改定を打ち出す等、得意先に対し粘り強く理解を求めてまいりました。しかしながら、原料相場の高騰に対する一定の理解は得られたものの、長引くデフレの影響等もあり、価格改定については十分な成果をあげるまでには至りませんでした。他方、家庭用油脂のプレミアムオイルや業務用油脂の高機能性油等の高付加価値油の拡販に努めるとともに、徹底したコスト削減を図るべく、経費予算のゼロベースでの組み直しや生産の効率化等に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比3.0%減の888億78百万円、営業利益は前年同期比6.2%減の24億円、経常利益は前年同期比1.7%減の25億3百万円、四半期純利益は前年同期に比べ減損損失等の特別損失が減少したことや法人税の税率変更の影響で税負担率が減少したこと等により、前年同期比12.5%増の14億50百万円となりました。

当第2四半期におけるセグメントの営業概況は、次のとおりであります。

#### (製油事業)

油脂部門においては、原料コスト増加を含む製品価値に見合った販売価格の実現に取り組みました。

家庭用油脂は、サラダ油の販売が振るわなかったものの、オリーブオイル・ごま油・健康油等のプレミアムオイルの拡販に努め、特にオリーブオイルの販売はメニュー提案等の販売活動の下で好調に推移し、販売数量は前年同期をわずかに上回りました。

業務用油脂は、“長く使える”をコンセプトとした「長調得徳<sup>®</sup>」シリーズや、バターと同様の香りをもった風味油「SavorUpバターフレーバーオイル」等の高機能性油の拡販に注力し、販売数量は堅調に推移しました。

マーガリン部門においては、家庭用マーガリンは、“減塩でもおいしい”をコンセプトにした「ラーマ<sup>®</sup>ソフト減塩」のパッケージデザインをリニューアルする等の拡販に努めましたが、夏場の猛暑も影響し、販売数量は前年同期を下回りました。業務用マーガリンは、“自然な乳の風味”が特長の新製品「マイスター<sup>®</sup>デリシア」等を6月に発売しましたが、被災地向け需要の減少もあり、販売数量は前年同期を下回りました。

油糧部門においては、穀物相場の上昇に伴って販売価格が上昇しているものの、安価な輸入大豆ミールの影響等により、販売数量・売上高ともに前年同期を下回りました。

以上の結果、当事業の売上高は815億68百万円（前年同期比3.5%減）、営業利益は37億9百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

(その他)

飼料部門においては、酪農家戸数や乳牛飼養頭数が減少する依然として厳しい販売環境が続くものの、乳牛用配合飼料を中心とした広域での拡販活動等により、販売数量・売上高ともに前年同期をわずかに上回りました。

スターチ部門においては、食品用タピオカ澱粉の販売が振るわなかったものの、粒状澱粉「ネオトラスト®」を新たに発売した他、ビール用Non-GMOコーンスターチの販売が好調に推移し、販売数量は前年同期を上回りました。

健康食品部門においては、「豊年®大豆レシチン(顆粒)」が昨年テレビで紹介されて以降、大幅に売上を伸ばしているものの、サプリメント全体としては他社品との競合激化等により、売上高は前年同期を下回りました。ビタミンK2 (MK-7) は、欧州競合メーカーの安値攻勢等が影響し、売上高は前年同期を大きく下回りました。大豆蛋白を原料とするシート食品「まめのりさん®」は、米国・カナダを中心に拡販し、売上高は微増となりました。

化成品部門においては、主たる需要家である建材業界では、石油化学系原料が高止まりする厳しい環境の中、住宅購入優遇制度等の政策により新設住宅着工戸数は堅調に推移しました。このような状況の下、新たな需要家を開拓する等の拡販に努め、売上高は前年同期を大きく上回りました。

以上の結果、その他の売上高は73億9百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は2億9百万円（前年同期比23.0%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期末の総資産は、前期末と比べ6億13百万円増加し、1,430億50百万円となりました。主な増加は、たな卸資産（合計）が27億56百万円であります。主な減少は、流動資産その他が3億34百万円、有形固定資産が15億52百万円、投資その他の資産（合計）が4億29百万円であります。

負債は、前期末と比べ2億50百万円増加し、745億82百万円となりました。主な増加は、支払手形及び買掛金が28億89百万円、社債合計が120億円であります。主な減少は、借入金合計が95億13百万円、未払法人税等が9億22百万円、未払消費税等が7億35百万円、流動負債その他が33億4百万円であります。

純資産は、前期末と比べ3億63百万円増加し、684億67百万円となり、自己資本比率は47.9%となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期末における現金及び現金同等物は、前期末と比べ1億44百万円増加し、61億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益24億4百万円を計上し、減価償却費28億91百万円、売上債権の増加1億15百万円、仕入債務の増加28億89百万円、たな卸資産の増加27億58百万円、未払金及び未払費用の減少14億17百万円、未払消費税等の減少8億57百万円、法人税等の支払額16億59百万円などにより、18億52百万円のプラスとなりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、既存設備の維持・更新投資による支出などにより33億12百万円のマイナスとなりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の発行や借入金の返済、配当金の支払により16億5百万円のプラスとなりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

製油産業におきましては、原料相場は依然として高値圏で推移しております。このような中、当社は、油脂製品及びミール製品の付加価値化や、生産の効率化等によるコスト削減を推進するとともに、更なる価格改定（10月1日より実施）を打ち出す等、製品価値に見合った販売価格の実現に向け、粘り強く得意先に対し理解を求めてまいります。

以上により、当期の業績予想につきましては、前回発表（平成24年8月6日）から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益は67百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ68百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,955	6,100
受取手形及び売掛金	37,263	37,378
商品及び製品	12,737	13,857
原材料及び貯蔵品	16,190	17,827
繰延税金資産	1,387	1,240
その他	2,098	1,763
貸倒引当金	△12	△8
流動資産合計	75,620	78,159
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,103	13,037
機械装置及び運搬具（純額）	18,089	19,343
土地	19,746	19,746
建設仮勘定	4,138	519
その他（純額）	1,323	1,201
有形固定資産合計	55,401	53,848
無形固定資産		
	524	520
投資その他の資産		
投資有価証券	9,889	9,535
長期貸付金	325	283
その他	812	778
貸倒引当金	△137	△137
投資その他の資産合計	10,890	10,460
固定資産合計	66,815	64,829
繰延資産	—	60
資産合計	142,436	143,050

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,227	19,116
短期借入金	16,890	13,720
1年内返済予定の長期借入金	7,649	2,646
1年内償還予定の社債	—	5,000
未払法人税等	1,615	692
未払消費税等	763	28
賞与引当金	754	864
役員賞与引当金	37	14
その他	12,585	9,281
流動負債合計	56,523	51,364
固定負債		
社債	5,000	12,000
長期借入金	2,916	1,575
繰延税金負債	3,052	2,893
退職給付引当金	3,000	2,998
役員退職慰労引当金	297	275
環境対策引当金	206	206
長期預り敷金保証金	2,175	2,187
その他	1,159	1,081
固定負債合計	17,808	23,217
負債合計	74,332	74,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	31,633	31,633
利益剰余金	24,662	25,445
自己株式	△210	△234
株主資本合計	66,085	66,844
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,022	1,763
繰延ヘッジ損益	42	△97
為替換算調整勘定	△45	△42
その他の包括利益累計額合計	2,018	1,622
純資産合計	68,104	68,467
負債純資産合計	142,436	143,050

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	91,622	88,878
売上原価	77,152	74,836
売上総利益	14,469	14,042
販売費及び一般管理費	11,911	11,642
営業利益	2,557	2,400
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	150	142
持分法による投資利益	—	57
雑収入	64	59
営業外収益合計	219	262
営業外費用		
支払利息	165	124
持分法による投資損失	30	—
雑支出	34	33
営業外費用合計	230	158
経常利益	2,546	2,503
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	1	—
関係会社清算益	—	10
受取保険金	52	—
特別利益合計	54	10
特別損失		
固定資産除却損	100	94
固定資産売却損	0	0
減損損失	84	0
投資有価証券評価損	4	12
投資有価証券売却損	0	—
会員権評価損	1	0
リース解約損	18	2
環境対策引当金繰入額	53	—
特別損失合計	263	110
税金等調整前四半期純利益	2,337	2,404
法人税、住民税及び事業税	887	750
法人税等調整額	160	203
法人税等合計	1,047	953
少数株主損益調整前四半期純利益	1,289	1,450
少数株主利益	—	—
四半期純利益	1,289	1,450

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,289	1,450
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25	△259
繰延ヘッジ損益	△173	△140
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	3
その他の包括利益合計	△157	△396
四半期包括利益	1,131	1,054
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,131	1,054
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,337	2,404
減価償却費	3,055	2,891
減損損失	84	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△3
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	19	△2
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9	△22
賞与引当金の増減額 (△は減少)	45	109
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20	△22
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	53	—
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△231	—
受取利息及び受取配当金	△154	△145
支払利息	165	124
持分法による投資損益 (△は益)	30	△57
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	—
関係会社清算損益 (△は益)	—	△10
受取保険金	△52	—
固定資産除却損	100	94
投資有価証券評価損益 (△は益)	4	12
社債発行費	—	4
売上債権の増減額 (△は増加)	△324	△115
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,288	△2,758
仕入債務の増減額 (△は減少)	696	2,889
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	499	△1,417
未払消費税等の増減額 (△は減少)	762	△857
その他	138	342
小計	5,927	3,458
利息及び配当金の受取額	161	162
利息の支払額	△169	△109
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△578	△1,659
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,340	1,852

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,434	△3,136
有形固定資産の売却による収入	0	2
有形固定資産の除却による支出	△200	△119
無形固定資産の取得による支出	△26	△94
投資有価証券の取得による支出	△218	△10
投資有価証券の売却による収入	33	—
関係会社の整理による収入	—	20
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△0	△0
長期貸付けによる支出	△1	△1
長期貸付金の回収による収入	28	26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,817	△3,312
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	500	△3,170
長期借入金の返済による支出	△1,408	△6,323
社債の発行による収入	—	11,935
リース債務の返済による支出	△168	△144
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△23
配当金の支払額	△667	△667
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,743	1,605
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△221	144
現金及び現金同等物の期首残高	5,778	5,955
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,557	6,100

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	製油事業				
売上高					
外部顧客への売上高	84,503	7,118	91,622	—	91,622
セグメント間の内部売上高 又は振替高	150	20	170	△170	—
計	84,653	7,138	91,792	△170	91,622
セグメント利益	3,826	272	4,098	△1,540	2,557

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飼料・スターチ・栄養補助食品・化成品の製造、加工、販売、ならびに不動産賃貸等の各種サービス等が含まれております。
2. セグメント利益の調整額△1,540百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,540百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	製油事業				
売上高					
外部顧客への売上高	81,568	7,309	88,878	—	88,878
セグメント間の内部売上高 又は振替高	129	21	150	△150	—
計	81,698	7,330	89,029	△150	88,878
セグメント利益	3,709	209	3,919	△1,519	2,400

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飼料・スターチ・栄養補助食品・化成品の製造、加工、販売、ならびに不動産賃貸等の各種サービス等が含まれております。
2. セグメント利益の調整額△1,519百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,519百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。